

長野駅ディスプレイ コンセプトシートver.夏

デザインの配置や大きさなどは実物と若干の違いがありますが、画面内のモチーフは同じものです。

《モチーフ：意味》

テーマ：「夏の花見」

※清泉女学院大学のルーツはスペインにある。

よってモチーフのほとんどがスペインにゆかりがあるもの

木：スペインにゆかりのあるザクロの木（国花）やゲルニカの木をイメージ

背景：「夏の花見」というテーマから水表現するための青色。

聖母マリアの象徴である「海の星」。清泉女学院大学に縁のある白百合は六芒星。

魚：夏の魚といえば「金魚」や「めだか」。そのメダカ類の中にスペインに生息するカダヤシ目という種類がある。その中でカダヤシ科のソードテールという金魚にも似た赤色の魚がいる。別名「動く宝石」とも言われている。

蓮：花言葉「清らかな心」は大学の理念と重なる。またテーマの「夏の花見」の花が蓮でもある。

全4回のディスプレイを通じて、一つのストーリーを制作していく。

（設定）

共通登場：少女たち 木（白色） 花・植物（春：桜、アーモンド 夏：蓮）

共通ストーリー：少女たちは大学のルーツを知る旅へ出かける

それは海外だったり、日本だったり、長野だったり。

行く先々で必ず存在する木。それはまるで彼女たちを見守っているかのよう。...

夏ver.ストーリー

タイトル「夏の花見」

緑の中に自然に溶け込む青

そこにあるきれいな蓮の花、水中を泳ぐソードテール

にぎやかなのにどこか静か

その雰囲気は少女たちの「心」を表しているかのよう

まさにその光景は・・・

※春ver.のストーリーもあります。

夏ver.デザイン

